

平成8年 第28回～第39回



ご自身の手作りスピーカーでオペラを聴く，高橋和正氏



第28回「ハッピー!ニューイヤーコンサート」
[講師]音楽プロデューサー 相沢昭八郎氏



第33回
「JAZZ,女性ボーカル特集」
[講師]ジャズ評論家 岩浪洋三氏



第30回
「最高の音! 最新のスーパー
アナログディスクを聴く」
[講師]キングレコード(株)
プロデューサー 高和元彦氏

第34回
「タンゴアルヘンティナの
夕べ」
[講師]
タンゴ評論家 蟹江丈夫氏



千代田チャリティーLPレコードコンサート3周年記念
スーパー・ジャズ・ライブコンサート
出演 増田一郎とスーパー・ジャズグループ
主催 株式会社千代田テクノロ
共催 株式会社ジャパン株式会社
後援 東京音楽大学 千代田音楽会

第32回 ライブコンサート No. 5
「3周年記念!スーパージャズ ライブコンサート」



増田一郎・葉子さん親子の出演で、緊張気味の会場にも一瞬なごやかなムードが広がる



決して広くないコンサート会場に、ジャズビッグバンドなみの7管編成のオーケストラを招き、フルサイズ演奏をしてもらい聴衆のドギモを抜くという企画でおくれたライブコンサート。ほんの鼻先で吠えるスイングジャズの迫力に魂を奪われた2時間30分となった。坊屋三郎さんの飛び入りに皆さん大喜び。

写真には写っていないが、ジャズファンの深谷議員も駆けつけて下さり、お祝いを述べられた。





第35回ライブコンサート No. 6
 「ハワイアン・スペシャルライブ・コンサート」
 出演:増田一郎と、ココナッツ・アイランダーズ
 ゲスト クアケア・フラ・ダンサーズの皆さん
 特別出演 坊屋三郎氏



途中でお祝いに駆けつけてくれた坊屋三郎さんが、なつかしい洗濯板演奏で飛び入りの大サービス。会場は湧きに湧いた。



優雅なフラダンスで会場を魅了したクアケア・フラ・ダンサーズの皆さん。本職が看護婦さんときいて、みんなびっくり。



第36回「珠玉のヴァイオリン名曲集」
 [講師]ヴァイオリニスト 佐藤陽子さん
 ゲスト オーディオ評論家 斎藤宏嗣氏
 本コンサート開始以来、初めての女性の講師です。楽しいながらも、旧ロシアにおける厳しい修行時代のお話には、胸を打たれました。



第39回ライブコンサート No. 7
 「ギターと歌とスペイン舞踊の夕べ」
 出演:山田恵子スペイン舞踊団の皆さん
 ギター 住田政男氏
 カント クーロ・バルデ・ペーニャス



ソロありデュエットありのすばらしい舞台の数々





ヴァイブラフォン・プレーヤー日本一の増田一郎氏をはじめ、日本を代表するジャズメン10人による「スーパー・ジャズグループ」による白熱したジャム・セッションが聴衆を魅了した



司会のジャズ評論家 悠雅恵さん



ヴァイブラフォン・プレーヤー日本一の増田一郎氏のプレイにも熱がこもる



女性ボーカルは増田薫子さん。小柄な身体からは想像できない迫力ある声に聴衆の声しきり。



オルトフォンジャズの 前副会長 菅田 義典



あいさつに立つ千代田 テクノルの黒田高明社長

7管ながら迫力サウンドに120人聴衆が大満足ノ
平成5年7月に始まった千代田テクノルとオルトフォン・ジャズ共催による千代田チャリティーLPレコードコンサートも回を重ねると32回、3周年を迎えこれを記念して去る5月10日(金)に千代田テクノルの1F エントランスホールで、聴衆120名を集め、「スーパー・ジャズ・ライブコンサート」が開催された。

「千代田チャリティーLPレコードコンサート」
3周年記念特別企画
スーパー・ジャズ・ライブ
コンサートが華やかに開催
5月10日
於 千代田
テクノル



熱び込みの応接で、タレントの坊屋三郎さんが会場に駆け付け、軽妙な話術で聴衆に笑いの渦を巻き起こしていた

出演者はオーディオ業界でもおなじみのヴァイブラフォン奏者の増田一郎氏、スーパージェズグループ(原田 靖(th)、村田浩(tp)、杉村彰(tp)、貫田重夫(sax)、五十嵐明要(sax)、清水万紀夫(sax)、根本慶子(p)、小野照彦(b)、中村吉夫(ds)、増田薫子(vo))。演奏曲は1936-1937年代、エリントラをピックアップしたライオネル・ハンターンのオーケストラから、オリヴァー・ネルソンの作品までジャズの名曲を2時間30分におたり熱演。約120名(会場の都合で限定)の聴衆は、わずか7管編成ながら、増田一郎氏のアレンジの妙も加わって、ビッグバンドに負けない迫力あるサウンドに、予定を超えた2時間半の演奏に酔い痴れた夕べであった。当日の売り上げは、恒例となっている千代田区福祉協議会の方へ寄付された。

(本誌・広瀬)